

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 10 日	
(あて先) 高崎市長	
提出者	
住 所 群馬県高崎市八幡町321番地	
氏 名 ビー・アンド・ジー株式会社 高崎工場	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 027-328-6300 (代表)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	ビー・アンド・ジー株式会社 高崎工場
事業場の所在地	群馬県高崎市八幡町321番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	令和5年度の生産実績： ● 洗濯洗剤関連生産量 (275,148t)、台所洗剤その他生産量 (70,419t)
③ 従業員数	383人 (令和6年3月31日現在)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	● 燃えやすい廃油 ● pH2.0以下の廃酸 ● pH12.5以上の廃アルカリ ● 燃えやすい廃油 (基準値を超える有害物質を含むもの) ● 廃油 (基準値を超える有害物質を含むもの) ● 廃アルカリ (基準値を超える有害物質を含むもの) ● pH2.0以下の廃酸 (基準値を超える有害物質を含むもの) ● pH12.5以上の廃アルカリ (基準値を超える有害物質を含むもの) ● 感染性廃棄物 ● 焼却 ● 中和 ● 埋立 (管理型) ● リサイクル (セメント原料等)

(日本産業規格 A 9414-10)



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者	高崎工場長	● 産業廃棄物の処理に関する各種事項の決定 ● 産業廃棄物の処理方針の策定
廃棄物管理担当	プラントエンジニアリング HS&Eプログラムリーダー	● 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 ● 工場内産業廃棄物の管理 ● 廃棄物処理計画の作成 ● 工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ● 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ● 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ● 監督官庁への各種報告 ● 社員、関連会社に対する教育・啓発

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】添付資料 1 参照
	（これまでに実施した取組） ● 廃酸について ➢ プロセスで副産物として発生するが、最小化するために運転方法、プロセスの改善を進めてきた。 ● 廃油、廃アルカリ（基準値を超える有害物質を含むもの） ➢ 特定施設設置に伴い基準値を超える有害物質を含んだ廃棄物が増加したため、有害物質除去装置を設置。
④ 計画	【目標】添付資料 1 参照
	（今後実施する予定の取組） ● 原単位で年間2%の排出量の削減 ● 廃酸について ➢ 引き続きプロセスの改善を進めるとともに、プロセス内での再利用化率を改善する。 ➢ 産廃処分から有償売却によるリサイクルへの移行検討。 ● 廃油、廃アルカリ（基準値を超える有害物質を含むもの） ➢ 有害物質除去装置の稼働率をあげ、普通産廃として排出、あるいは公共下水道に排出を検討する。

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ● 特に実施していない。
⑤ 計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ● 今後も実施の予定はない。

--	--

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】添付資料 1 参照 (これまでに実施した取組) ● 特に実施していない。
② 計画	【目標】添付資料 1 参照 (今後実施する予定の取組) ● 今後も実施予定はない。
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項	
① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】添付資料 1 参照 (これまでに実施した取組) ● 特に実施していない。
② 計画	【目標】添付資料 1 参照 (今後実施する予定の取組) ● 今後も実施予定はない。

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】添付資料 1 参照
	(これまでに実施した取組) ● 特に実施していない。
② 計画	【目標】添付資料 1 参照
	(今後実施する予定の取組) ● 今後も実施予定はない。

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 5 年度）実績】添付資料 1 参照
	(これまでに実施した取組) ● 産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連法令、その他の規則を遵守した業者に処理委託を実施。 ● 定期的な処理委託業者への監査の実施。

(第5面)

	② 計画	【目標】添付資料 1 参照	
		(今後実施する予定の取組) ● 廃棄物の処理に係る情報の収集・管理の継続実施。 ● 優良認定処理業者への委託処理量の改善。 ● 処理業者への再生利用委託量の改善。	
電子情報処理組織 の使用に関する事 項	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 （ ポ リ 塩 化 ビ フ ェ ニ ル 廃 棄 物 を 除 く 。 ）	821.110 t	
	(今後実施する予定の取組) ● 特になし（既に電子マニフェスト導入済）		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成してください。
- 2 当該年度の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入してください。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含みます。）を記入してください。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入してください。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入してください。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 8 ※欄は記入しないでください。

名 称		計 画										
		A 排出量	B 自ら再生利用を行った量 (t)	C 自ら熱回収を行った量 (t)	D 自ら中間処理により減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 (t)	F 産業廃棄物の全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者への処理委託量 (t)	H 再生利用業者への処理委託量 (t)	I 認定熱回収業者への処理委託量 (t)	J 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量 (t)	
産業廃棄物の種類	前年度実績	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量	Aの量のうち、自ら再生利用した量	Aの量のうち熱回収を行った量	Aの量のうち、自ら中間処理により減量した量	Aの量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	Fの量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	Fの量のうち、処理業者への再生利用委託量 (I、J除く)	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	Fの量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	
	今年度の計画											
燃えやすい廃油	現状	18.000	0.000	0.000	0.000	0.000	18.000	17.995	0.030	0.005	17.965	
	計画	17.640	0.000	0.000	0.000	0.000	17.640	17.640	0.353	0.353	16.934	
pH2.0以下の廃酸	現状	415.000	0.000	0.000	0.000	0.000	415.000	62.650	352.350	45.920	16.730	
	計画	406.700	0.000	0.000	0.000	0.000	406.700	101.675	353.829	52.871	0.000	
pH12.5以上の廃アルカリ	現状	203.750	0.000	0.000	0.000	0.000	203.750	203.750	203.550	0.000	0.200	
	計画	199.675	0.000	0.000	0.000	0.000	199.675	199.675	199.675	0.000	0.000	
燃えやすい廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)	現状	0.390	0.000	0.000	0.000	0.000	0.390	0.390	0.000	0.000	0.390	
	計画	0.382	0.000	0.000	0.000	0.000	0.382	0.382	0.008	0.008	0.367	
廃油(基準値を超える有害物質を含むもの)	現状	20.860	0.000	0.000	0.000	0.000	20.860	1.900	0.000	18.960	1.900	
	計画	20.443	0.000	0.000	0.000	0.000	20.443	5.111	0.409	19.012	1.022	
廃アルカリ(基準値を超える有害物質を含むもの)	現状	149.060	0.000	0.000	0.000	0.000	149.060	108.990	19.630	40.070	89.360	
	計画	146.079	0.000	0.000	0.000	0.000	146.079	109.559	21.912	42.363	81.804	
pH2.0以下の廃酸(基準値を超える有害物質を含むもの)	現状	14.030	0.000	0.000	0.000	0.000	14.030	0.000	0.000	14.030	0.000	
	計画	13.749	0.000	0.000	0.000	0.000	13.749	3.437	0.275	13.474	0.000	

		計 画									
		A 排出量 (t)	B 自ら再生利用 行った量 (t)	C 自ら熱回収を 行った量 (t)	D 自ら中間処理により 減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った量 (t)	F 産業廃棄物の 全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	現状／計画										
	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場において 生じた産業廃棄物 の種類ごとの量	Aの量のうち、自 ら再生利用した 量	Aの量のうち熱 回収を行った量	Aの量のうち、自ら中 間処理により減量し た量	Aの量のうち、自ら 埋立処分又は海洋 投入処分した量	中間処理及び 最終処分を委 託した量	Fの量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	Fの量のうち、処理業 者への再生利用委託 量 (I、J除く)	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者であ る処理業者への焼却 処理委託量	Fの量のうち、認定熱回 収施設以外の熱回収 を行っている処理業 業者への焼却処理委 託量
感染性廃棄物	現状	0.020	0.000	0.000	0.000	0.000	0.020	0.020	0.000	0.000	0.020
	計画	0.020	0.000	0.000	0.000	0.000	0.020	0.020	0.000	0.000	0.019
	現状										
	計画										
合計	現状	821.110	0.000	0.000	0.000	0.000	821.110	395.695	575.560	118.985	126.565
	計画	804.688	0.000	0.000	0.000	0.000	804.688	437.499	576.461	128.081	100.146